

こころの健康講演会

「双極性障害とはなにか」

以前は躁うつ病と呼ばれていた双極性障害。躁状態とうつ状態の繰り返しにより社会生活にダメージを与えてしまうことを防ぐため、薬物療法と心理・社会的療法という車の両輪による再発予防が大切だと言われています。

双極性障害に罹患した当事者やご家族、支援者が病気について正しく理解し、その人らしい人生を歩めるように、加藤忠史先生をお招きして双極性障害の基礎知識や対処と治療についてわかりやすくお話いただきます。



◆日時：令和元年 9月6日(金)

開会 午後7時00分～8時30分
(開場 午後6時30分)

◆場所：調布市こころの健康支援センター
2階こかげ (会場地図は裏面参照)

◆講師：理化学研究所脳神経科学研究センター

加藤 忠史 医師 ※詳しいプロフィールは裏面



◆定員：80名 (申込順) 参加費は無料です。

◆申込：

電話：042-490-8166

(月～土 8:30～17:30)

FAX：042-490-8167



HPアドレス <http://kokoro.chofu-city.or.jp/>

◆研修「双極性障害とはなにか」

参加申込書:下記にご記入の上、FAXでのお申し込みができます

所属団体
ふりがな 名 前
電話番号

加藤 忠史 医師 プロフィール

理化学研究所脳神経科学研究センター精神疾患動態研究チームチームリーダー（現職）

医学博士、精神保健指定医、日本精神神経学会精神科専門医

1963 年、東京生まれ。東京大学医学部卒。滋賀医科大学精神医学講座助手、東京大学医学部附属病院講師を経て現職。国内外において双極性障害の研究を牽引している。

非常勤等に、東京大学大学院医学系研究科連携教授、広島大学大学院医歯薬保健学研究員客員教授、藤田保健衛生大学医学部客員教授ほか。著書に『双極性障害—躁うつ病への対処と治療（ちくま新書）』（筑摩書房）、『双極性障害（躁うつ病）の人の気持ちを考える本』（講談社）、『これだけは知っておきたい双極性障害 躁・うつに早めに気づき再発を防ぐ！』（翔泳社）など、双極性障害を中心にうつ病、脳科学に関するもの多数。

<会場交通アクセス>

〒182-0024

東京都調布市布田 5-46-1 調布市こころの健康支援センター



京王線 調布駅

中央改札中央口を出て

南側より徒歩 12 分

京王相模原線 京王多摩川駅

徒歩 8 分

